

第166回学校体育研究同志会全国研究大会(愛知・みはま大会)



「ともに生きる」につながる文化の学びを ～体育・健康教育で何を教えるのか～



この間のコロナ禍は、私たちの生活の様々な場面で変化をもたらし、学校教育においては「教育の本質」を問うことが求められ続けています。さらに、ロシアのウクライナ侵攻をめぐる世界情勢は、「平和」「人権」「民主主義」「福祉」つまり「ともに生きる」とは何かを私たちに突きつけているのです。

学校体育を実践研究する私たちは、2023年「愛知・みはま大会」を通して体育同志会が基盤としてきた「運動文化論」をあらためて問い直し、発展・継承すべく「体育・健康教育で何を教えるのか」といった教育の意義、教育の本質を追求することを進めていきたいと考えています。加えて、本大会は、コロナ禍以降に初めて全面的に対面で実施する研究大会であり、合言葉を「**あ**んなで・**は**ぐくむ・**ま**なび」としました。すべての子どもたちに豊かな運動文化を伝える体育・健康教育の実践づくりを、ともに追究していきましょう!

■大会日程：2023年8月5日(土)～8月7日(月)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
5日(土)		(全国総会)	(研究員会議)	受付	開会行事 ・基調提案 ・シンポジウム ・記念演奏会	移動		分科会①	移動		夕食		
6日(日)	受付	分科会②		昼食	分科会③		移動・準備		文化交流のタペ		移動		
7日(月)	受付	分科会④	移動	閉会行事 (研究員会議)									

【受付場所】5日は文化ホール(12時～)
6～7日は7号館1階(8時30分～)

■会場：愛知県知多郡美浜町 日本福祉大学美浜キャンパス

■開会行事

8月5日(土) 13:00～15:00

□基調提案

13:00～13:30

開会セレモニーでは、実行委員会メンバーが心を込めて作詞作曲したオリジナルソングを、みなさんにお届けします。基調提案は大会三日間の研究の柱となるものです。「ともに生きる」未来のために、私たちがこれまで実践してきた体育・健康教育の研究成果と課題を問い直し、これからめざす授業実践をわかりやすく提案します。

□「ともにつくる未来」を語るシンポジウム

13:30～14:30

教育・社会運動、教育支援活動をする全国の若者・学生たちによるシンポジウムを開催します。なぜ若者・学生たちは教育・社会問題に関心を持ち、どのような運動をしているのでしょうか。彼ら彼女たちのエネルギーの源を探りながら、「文化」を継承・発展する意味や、私たちがつくる未来について、ともに考えましょう。

□記念演奏会

14:30～15:00

海洋ゴミ楽団集団「ゴミンゾク」による演奏会です。「ゴミンゾク」は、海洋ゴミ×民族楽器をコンセプトにして、海洋ゴミから楽器を作り、各地で演奏しています。テレビにも出演されて注目されている演奏グループです。みはまの海にも度々訪れて、打ち捨てられたゴミ収集の活動もされています。乞うご期待!!!

主催 学校体育研究同志会

主管 学校体育研究同志会全国研究大会 愛知・みはま大会実行委員会

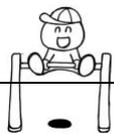
後援 日本福祉大学、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、美浜町教育委員会



大会期間中は、17の分科会で、体育・健康教育の実践づくりについて、三日間を通して追究します。
 下の表から一つだけ選び、お申し込みください。提案内容、持ち物については、大会HPでお知らせします。

番号	分科会名	分科会紹介	実践報告 (教材・学年)	実技
1	陸上運動	参加者の皆さんと「投げる」運動の教材化と系統性発展について考えていきます。小学校低学年の子どもたちが「投げる」のどのようなことに魅力を感じ、どのように楽しんだのか、ありのままの姿を報告したいと思います。	投運動 (小1・2) 身体運動の発生とメカニズムを考える (研究報告)	あり
2	器械運動	参加者のニーズを大切に、実践提案の検討と実技・指導法研究の両面から研究を深めていきます。器械運動が「できる」「わかる」楽しい授業づくりにつながる分科会です。また「からだ」についての研究も視野に入れて新たな体育観の創造もめざしていきます。	「床」運動 (野口体操の実践) (小5) 跳び箱運動 (中2)	あり
3	水辺文化	基礎泳法「ドル平」から近代泳法への指導だけでなく、日本泳法や音楽水泳などの表現の指導など水辺文化につながる様々な実践の可能性を探ります。また、久しぶりの中学校での水泳実践や、全国的に水泳の外注化が問題になる中、水泳授業のあり方についても論議します。	ドル平～クロール (中2)	あり
4	サッカー	サッカーの授業づくり＝子どもたちが興味深く取り組める教材開発、学び合いによる学級集団づくり等＝について考えていきます。参加されるみなさんのニーズを大切にしながら、サッカーという文化が持つ可能性を実践的に、研究的に、あるいは活動的に、ともに探究しましょう。	授業実践 (小5・6)	あり
5	フラッグ フットボール	戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では基礎となる戦術的課題や技術を学びます。小学校6年生の実践提案を「学んだ知識を使って思考・判断するゲーム」をキーワードにして検討します。	授業実践 (小6)	あり
6	バスケット ボール	楽しければよいとするのではなく、「何をこそ学ぶべきか」「どのように授業を組み立てるのか」などに焦点をあてて研究をすすめています。また、「勝つことをめざす」上で起こる子ども同士のトラブルにも重要な場面があります。これらに関わる実践報告を受けて経過の整理・分析、参加者の意見の交流などを行います。	授業実践 (小6・中)	あり
7	バレー ボール	子どもとともにバレーボールという文化に向き合い、はたらきかけ、より幸せな文化へと高め、子どもと指導者がともにできてわかって発達をとげることをめざす分科会です。小学校から高校までの指導の系統を、実技と実践提案の検討を介して明らかにしていきます。	授業実践 (小4・5・中3)	あり
8	ベース ボール	この運動文化の特質を明らかにし、基礎から系統的に学んでともにわかってできる授業づくりをめざします。ボールを投げる、捕る、打つなどの個別の技術から、3:3～6:6までの三角ベース・菱形ベースのゲームの学習内容を、実践報告をもとに検討します。	授業実践 (小・中・高・大)	あり
9	表現・ 民俗芸能・ ダンス	自分の「からだ」への認識を高め、自然で合理性のあるからだ使いや、他者と関わりから生まれる表現の面白さや可能性を追求していきます。表現運動、民舞、太鼓、ダンス、からだの学習、等の授業・行事づくりを主とした実践についてレポート討議と実技を通して深めていきます。	体ほぐしの運動 (高) 運動会表現 (小)	あり
10	体育理論の 授業づくり	本分科会は、「体育は何を教える教科であるか」を追求し「体育理論」の学びを議論します。子どもたちが置かれているスポーツ環境やスポーツ状況を見据え、実技を通してだけでは学ぶことができない「体育理論」の実践提案を検討します。	生涯スポーツ、オリンピック・パラリンピック (小・中)	なし

11	健康教育	からだや健康問題の学習をすすめる上では、子どもたちの生活課題や背景にある社会問題に目を向け、現実の課題に向き合うことが欠かせません。子ども・父母・地域・教職員と共に創る授業のあり方や教材づくりの方法を学びます。性教育の教材研究・授業作りワークを行います。中高生のアンケートを分析し、新型コロナ禍を振り返り、今後の課題を話し合います。	性教育 (小・中) 新型コロナウイルス (中・高) 総合 (高)	なし
12	特別なニーズのある子どもと体育	特別なニーズのある子どもたちが、身体の主人公になるために、「快」「不快」を感じ取り、好きな動きを見つけるなど、身体活動はとても大切です。また、自分に否定感を抱いている子どもも少なくなく、自分の身体を肯定的に受けとめる身体に関わる学習も大事になります。ともに学ぶ上でどのような教材や授業づくりが求められるのか、一緒に考えましょう。	自立活動 「心と身体の学習」 (小学校特別支援学級) 体育 「トランポリン」他 (支援学級分校)	あり
13	小学校 全学年	小学校分科会では、子どもたち一人ひとりの成長を保障するため学級づくりと体育の授業を合わせて学び合います。実践提案だけでなく参加者の皆さんで日々の授業実践を交流し、悩みに応えながら、それぞれの教育課程マイプラン作りをめざします。初参加者歓迎です。	跳び箱運動 (小1) サッカー (小3～6)	あり
14	幼児の 運動あそび	幼児の運動あそびを研究対象としています。実践と実技を通して、幼児期の発達を踏まえた運動あそびの指導方法を検討します。「子どもの声」を大切にしながら、子どもの要求は何か？を問いつつ、子どもたちがワクワクドキドキしながら楽しめる運動あそびを考えます。	おにごっこ (4歳児)	あり
15	グループ 学習	みんなで「わかる・できる・関わり合う」ことを目指したグループ学習について学び合います。基調提案では、グループ学習の基本的な考え方や研究課題について共通理解します。2日目には2本の実践提案をもとに「グループ学習による授業づくり」を考えるとともに、「集団の高まり」とは何かを検討していきます。「みんな」で学び合う体育授業をめざして実践研究をしましょう。	タグラグビー (小5) フラッグ フットボール (小4)	なし
16	教科外体育 (行事 ・部活動)	この分科会では、とりわけ体育行事と運動部活動について検討します。具体的には、子どもがどのような課題に取り組んだのか、どのように人間関係が広がり、深まったのか、体育授業との違いはどこにあるのかについて議論し、実践の成果と課題を共有します。また、今回は体育理論分科会と共同で『教科外体育と教科体育をつなぐ体育理論』を検討します。	研究報告 (部活動) 教科外体育と教科学習 (小, 中) 部活動 (中) 運動会 (小)	なし
17	子ども・スポーツ・社会と 学校づくり	子ども・青年が学校・地域の主体者になっていくために文化・スポーツの継承・発展・創造と、生活綴り方や集団作りを通して権利の自覚・行使の視点から、子ども・若者とともに創る文化・教育実践の意義に迫ります。秋桜高校と埼玉太鼓集団「響」、地域バレー教室の継続報告を軸に5本の実践報告がテーマに迫ります。	高校の学校づくり 太鼓集団「響」の現状 フリースクールの立ちあげ 地域バレー教室(京都) 不登校に向き合う教育実践(小・和歌山)	なし



■文化交流の夕べ

8月6日(日) 18:00～20:00

分科会の研究と同じくらい大切な文化交流の夕べ(通称:大レク)。北海道から沖縄まで、全国津々浦々から集まる仲間と「ともに」交流します。各支部、各分科会に受け継がれる大レク芸を、みんなでたのしみ、明日からのエネルギーをチャージしましょう!

■閉会行事

8月7日(月) 12:00～13:00

研究のまとめとして今大会の成果と課題を全国研究局から報告します。また、今大会の各分科会での研究の様子等を振り返ります。最後に『同志会の旗』を2024年に夏の全国研究大会を開催する、『みやぎ大会実行委員会』に引き継ぎます。

子ども学校 【 みはまっこ 】

■目的

- ・海の自然にふれる活動を通して、海浜生活を楽しむ。
- ・いろいろな体験や共同生活をするにより、友達になり交流を深める。

■参加対象

小学1年生から6年生 定員15名

中学生は要相談

■活動場所

知多奥田若松海岸、南知多ビーチランド など

■費用

20,000円(税込)

■宿泊

民宿:松彦荘(知多郡美浜町大字野間字若松 97)

保育 【 とびっこ 】

■目的

- ・美浜での新しい体験を楽しめるようにする。

■参加対象

3歳児(年少)から 定員5名

■活動場所

日本福祉大学美浜キャンパス保育実習室、
キャンパス内とその周辺

■費用(おやつ、保険料、昼食など)

【5日(午後)】 3,000円(税込)

【6日(終日)】 5,000円(税込)

【7日(午前)】 3,000円(税込)

■大会参加費 (提案集、保険料等を含む)

	一般	学生
3日間	7,000円	2,000円
2日間	5,000円	
1日間	3,000円	

お弁当代(8/6 昼、お茶あり) 900円(税込)

文化交流のタベ(8/6 夜) 一般 5,000円(税込)

学生 3,000円(税込)



■宿泊のご案内 (美浜町内の旅館)

美浜町内の3つの旅館をご案内いたします。旅館の指定はできませんが、同一料金です。

○柏屋旅館 ○やまに旅館 ○紅葉屋旅館 ※先着 180名

	7月20日まで(限定料金)	7月21日~30日	7月31日以降
8月5日(朝夕食付)	7,700円(税込)	8,800円(税込)	各自手配
8月6日(朝食付)	5,500円(税込)	6,600円(税込)	各自手配

※キャンセル料:7月22日から20%、7月30日から30%、8月4日から50%、8月5日以降は100%

■提案集について

当日お渡しします。事前に、分科会ごとに[学校体育研究同志会HP](#)にアップします。

申し込みをされた方々には、閲覧用のパスワードをお知らせします。

■申し込み方法

[愛知・みはま大会HP](#)(右のQRコード)からお申し込みください。

URL <https://sportslibrary.nyanko.org/wordpress/>



■申し込み期間

6月10日(土) ~ 7月30日(日) 23時59分

■会場へのアクセスは、[愛知・みはま大会 HP](#) をご覧ください。

■問い合わせ先

愛知・みはま大会実行委員会事務局: 2023mihama@gmail.com

公式 LINE への登録をお願いします!

